

3. 真岡市総合運動公園(南ブロック)の整備コンセプト

真岡市総合運動公園南ブロックを市民の方々のニーズに対応したスポーツ拠点として整備するとともに、緑やオープンスペースを活用したレクリエーションなど多様な機能を持ち、すべての人々が気軽に利用できる公園として整備するものとし、公園整備の基本的な考え方は以下のとおりとします。

『市民のスポーツ拠点として多様な機能を備え、世代をこえて長く愛着を持って利用できる公園整備』

① 親しみやすく市民に愛される総合運動公園整備

- ・公園利用者が快適に使用することができる硬式兼軟式野球場、運動広場、芝生広場等を配置し、市民のスポーツ交流・活動の拠点となる総合運動公園の施設整備を計画します。

② 誰もが利用しやすい人にやさしい施設整備

- ・子どもから高齢者、障がいのある方、すべての方々が使いやすいユニバーサルデザインによる公園施設を計画します。
- ・誰にでも使いやすい、分かりやすい空間構成・動線計画及び、施設配置計画とします。

③ 市民の暮らしを支える公園整備

- ・市民の方々が安心して暮らすために、防災拠点として公園施設を計画します。
- ・野球場スタジアムは、耐震設計とし、大地震時にも防災拠点として活用できる施設として計画します。

④ 市民のスポーツニーズを重視した公園整備

- ・市民の方々のスポーツニーズを反映した公園施設を計画します。
- ・身近に利用できて市民意向調査においても日頃から行っている人の多い、ウォーキング・ジョギングコースを整備します。

⑤ 周辺の気候風土にマッチした環境配慮型公園整備

- ・周辺地区の景観に配慮した施設外観・素材を取り入れた計画とします。
- ・公園計画地内の既存木は極力生かす計画とし、必要な樹木については移植なども検討します。

⑥ ライフサイクルコストの低減を目指した公園施設整備

- ・イニシャルコストと、施設維持、改修、撤去を含めたライフサイクルコストの低減を目指した公園施設の導入を図ります。
- ・照明設備は、LED光源とし、長寿命化や電力費用削減などに配慮した設計とします。